

中日美容は生まれ変わります!! 『プロフェッショナル』を育て、美容学校のスタンダードを変える 小山校長の美容学校革命



学校法人中日学園 理事長
中日美容専門学校 校長

小山 育久氏



美容学校でスタイリスト育成

いまの美容学校は美容師国家試験を取ることで、ゴールになっています。美容学校の意義は『プロフェッショナル』を育成することです。

美容師国家資格がないと仕事ができないので、資格は大事です。ですが、資格と同等にスタイリスト育成も非常に大事です。

未来が「輝く世界」に

私は美容業界の発展を考えています。それは、美容業界に進む人材確保と進んだ人材が離職しない世界です。

美容学校とサロンが同じ考え、同じ魅力のある世界観が必要です。どちらも夢のある未来をつくりだす場所にならないといけないと私は考えます。

資格は「通過点」

美容学校の魅力、やらなければいけないことは、プロフェッショナルな学生の輩出です。

サロンに入社してからの離職率が高いのは、美容学校を卒業して資格しか持っていないで、サロンのスキルが身につけていないのが大きな要因と見えています。

少子化で今後は、美容希望者も減少していきます。離職率を下げることで、美容業界を守っていくことにもなります。

美容学校の「原点」に戻る

サロンに入社して、働きながら、サロン技術を修得しないといけない状況は、とても大変です。何のための美容学校なのか。そういう学生を出してはいけない。資格とサロン技術・知識を持って卒業させれば解決できるはずなんです。

早くスタイリストになれば、仕事の楽しさが分かる、給料が上がると、良いことしかないはずなんです。離職率は必ず下がります。

「スタイリスト」になるための教育を

プロフェッショナルな学生を育成するために、中日美容では教育内容を見直し、美容のどの職種に対しても、現場を想定したカリキュラムで授業を行っています。ウィッグ授業・相モデル授業、外部モデル授業で基本・応用・実践と展開しています。

「教え込む教育」と「考える教育」のハイブリッドで

私たちの教育は、基本は「教え込む教育」、応用・実践は「考える教育」の指導を行っています。教え込む教育では、教員ができるまで付き添い、考える教育では、作品づくりなど自分で考えて、カット、カラー、メイクなどを駆使して作品を完成させます。

スタイリストになれば、最初から最後まで自分で仕上げなければいけません。学生のうちから自分で考えて、自分で責任を持つトレーニングを行います。

サロンワークに特化した「スーパープロフェッショナルコース」

2025年度からスタートした「スーパープロフェッショナルコース」は、名前の通り、美容業界の第一線ですぐに活躍できる人材を最短で育成するコースです。サロンワークに特化した教育カリキュラムで、入社後のスタイリストデビューを目的とした練習を美容学校時代に行います。

3年で一人前のスタイリストになると仮定します。1日2時間練習するとして、3日で6時間、これは美容学校の1日の授業時間です。つまり、入社後3年間の練習を、美容学校の1年間でできるのではないかと、いう発想です。

「スーパープロフェッショナルコース」を先頭に、すべてのコースで即戦力スタイリストを目指します。教育カリキュラムは毎年見直し、常に美容業界に必要な人材を育成する。中日美容は立ち止まりません。いつも学生が輝ける、美容業界が発展していく世界をつくります！



私の自慢は「最強の教員達」

私たちの最大の強みは教員です。サロン経験・スタイリスト経験豊富な教員ばかりなので、サロンワークを想定した授業がたくさんできるのも魅力です。

学生は、教員にヘアスタイル、メイク、ファッションなどの相談もしています。それも経験豊かな教員ばかりだから、美容業界やファッション業界の勉強をしている教員ばかりだからできることだと思います。

「最高の環境」を用意

学生に夢を見せるだけが目的ではない。

中日美容はきちんと育てて、学生の夢を完成させる学校です。

勉強できる環境づくりです。現場を想定した授業を行うためにたくさんの実習室を用意しています。中日美容は東海地区最大の施設で行っていますし、設備も充実しています。人体モデル授業では、サロンが普段使用している、高級ドライヤー、高級アイロンを使用して、実践経験を養っています。常に現場と同じ環境を目指しています。